

NTT様が発行しているWEB雑誌「365°」のサイトにウェザーバケットが取り上げられました。アドレスは <http://www.ntt.co.jp/365/> です。



● NTTグループについて

■ニュースリリース ■各社へのご案内 ■商品・サービス ■社会環境活動・災害対策

● NTT(持株会社)について

■社長会見より ■会社案内 ■株主・投資家情報 ■研究開発 ■採用のご案内

[NTT HOME](#) > [365° トップページ](#) > 最新号を追う！ ここにも「おいしさを作って届ける」技術



ITは社会に影響を与えるけれど、社会を変えるわけではありません。社会を変えるのは、あくまでも、人の価値観と意識。視野を広く360°、さらに「5°」分、先を見つめる。「365°」では、私たちの暮らしを取り巻くさまざまな話題と、そこに関わるITの最新動向などをご紹介します。

365° 最新号


vol.18 特集 まいにちおいしく

レストランで食べる「ごちそう」もいけれど、毎日食べる家での「ごはん」も大切。私たちの日々の暮らしを支え、食卓を囲む家族をつないでくれています。「食の安全」に注目が集まっている今日、毎日、おいしく、ごはんを食べ続けることのできる暮らしを支える技術やしくみが、改めて必要とされているのではないのでしょうか。わたしたちの「毎日のおいしさ」の大切さについて考えるとともに、それを様々な方向から支える取り組みを紹介し、そこにITが果たす役割を探ります。



■目次

- ・食はつながっている。昨日も、今日も、明日も。
- ・おいしさを作って届ける
- ・インターネットで、変わる「台所」
- ・味の数値化で変わる、食の未来。
- ・IT展望台
- ・ブロードバンド・ユビキタスを実現する次世代の暮らし、くつきりと。
- ・What's coming?
- ・イラストルポ・デンスケ部長が行く
- ・最初の197回線
- ・神足裕司がキーワードを読む

 [vol.18を読む\(WEBブック\)](#)

最新号を追う！

本誌と連動した話題や情報をお届けする、ウェブオリジナルのコンテンツです。

 [ここにも「おいしさを作って届ける」技術](#)

[NTT HOME](#) > [365°](#) [トップページ](#) > [最新号を追う!](#) ここにも「おいしさを作って届ける」技術

365°

最新号を追う!

ここにも「おいしさを作って届ける」技術

本誌18号特集「おいしさを作って届ける」では、IT技術を使って安心・安全でおいしい食を届ける取り組みを、生産地、流通、消費それぞれの現場で見てきた。「食の安全」を実現するためにITを活用しようという動きは、他にもある。ここでは、最新の「おいしさを作って届ける技術」を、2つ紹介しよう。

気象観測システムで、農の知恵を集積「ウェザーバケット」



本誌記事でご紹介した、宮崎県都城市にある農業法人 有限会社新福青果の記事でも触れたが、気象条件をどう把握し予測するかは、農業を営む上で非常に重要なポイントだ。種まきや田植えの時期を見極めたり、肥料の量や与えるタイミングを決定したり、あるいは病害虫の発生を予想するためには、気温、湿度などの気象条件を正確に把握することが必要になる。

「ウェザーバケット」（株式会社エスイーシーと有限会社アグリウエザーの共同開発）は、ITを活用して農場の気象情報を観測・集積するシステムだ。ウェザーバケット本体は、三脚の上に各種のセンサーが取り付けられた、高さ2メートルほどの装置だ。太陽電池で動き、気温や湿度、降水量、日射量、風向・風速、地温、気圧などのデータを収集する。データ収集は、コストのかからない無線通信で行われる。収集したデータは、アグリウエザーのサーバーに蓄積され、アグリウエザー社では、そのデータを使って気象解析情報や病害虫の発生予測等の提供を行っている。一般の農家はもちろん、JA、市町村、農業試験場などに導入されているという。

昔は、一軒一軒の農家それぞれが自らの経験にもとづき、天気を判断・予測していた。農家を継ぐ人が減り、知恵の伝承が途絶えようとしている一方で、新たに農業を始めたいと思う人も増えた。しかしその知恵を、ゼロから自分だけの力で蓄積することは難しい。「ウェザーバケット」のようにITを活用し、「知恵」を手に入れることのできるツールは、そうした新規就農希望者を勇気づけてくれるだろう。

綺麗な記事の仕上がりになっていて、アグリウエザースタッフは大満足です。家庭の食卓に毎日上がる食材・皆さん今「安全・安心」に以前よりずっと敏感になっていることと思います。食や農を題材にした雑誌、サイトも以前よりずっと増えています。どんどん、取り上げてほしいと願っています。